

2015年6月25日

東京楽天地浅草再開発プロジェクト 真の地域振興拠点を目指す商業施設 「まるごとにつぼん」2015年12月中旬開業決定

株式会社東京楽天地（東京都墨田区、取締役社長：山田啓三）は、浅草再開発プロジェクトとして現在浅草六区に建設中の、株式会社まるごとにつぼん（東京都墨田区、取締役社長：小笠原功）運営の商業施設「まるごとにつぼん」を2015年12月中旬に開業することを決定しました。

毎年約2800万人の観光客で賑わい、伝統文化が根付く浅草に、全国各地の魅力が詰まった地域情報の総合拠点を作り、地方自治体や地方事業者が出店できる仕組みを構築することで、「真の地域振興の拠点」を目指します。

現在建設中の地上13階、地下2階からなる「東京楽天地浅草ビル」内のうち、1階から4階が「まるごとにつぼん」となります。「まるごとにつぼん」は、浅草六区に賑わいを取り戻したいという思いと、都市部への人口流出や後継者不足で徐々に疲弊をしている地方都市を目の当たりにし、地方創生の足掛かりとなる施設を作りたいという思いから、開業決定に至りました。

施設名「まるごとにつぼん」は、日本の細部の知られざるもの・こと・風土といった地域資源を館全体まるごと体感することで、日本の魅力の発見をしてほしいという思いを込めて名付けています。

ロゴマークは、赤い丸い蓋をあけると、日本のもの・こと・風土が、ぎっしりまるごと詰まっているという施設名称・意図を象徴化したデザインになっています。重箱の蓋を開けた時の「楽しみ、期待感」を、その中に詰まった格子柄は、当施設から生まれる「つながり、ひろがり、結びつき」を表現。お祝い事に伝統的に使用される紅白を用い「晴れやかな和」を訴求する色で構成しています。



「東京楽天地浅草ビル」外観パース



1

「まるごとにつぼん」ロゴデザイン

■運営理念：地方紹介のポータルサイト

毎年約 2800 万人の観光客で賑わい、伝統文化を体感できる浅草で、20 の市町村・約 50 の地方事業者が、モノ・コト・ヒトの魅力を発信していきます。地方の魅力を一挙に体験できる「地方紹介のポータルサイト」として、来館者は「見て」「食べて」「持ち帰って」もらうことで、旅気分をお楽しみいただけます。

「真の地域振興の拠点」を目指して、日本の魅力を発見、実際にその地に足を運ぶきっかけづくりの場となるよう、浅草から日本の魅力を発信していきます。また、出店している市町村や地方事業者には、腕試しの場所として活用いただくことで、地方創生のための足掛かりを作ります。当施設から、浅草六区の新たな賑わいを創出していきます。

■運営システムの特徴：腕試しの場としての仕組み作りとサポート

すでにブランドが確立された著名な商品を扱い、売り上げ成果主義で販売スペースを構成している商業施設とは異なり、約 70 テナントのうち大半が、東京初出店となる地方自治体と地方事業者となります。大手での流通が難しい小ロット商品を直営ゾーンで販売する販路開拓支援、店舗内装と什器をまるごとにつぼんが用意し、初期投資を抑えたテナント出店支援など、出店者に「腕試し」の場所として活用してもらえるような仕組みづくりをしています。テナントに合わせたルールを設定し、販売の現場までコンサルティング、サポートをしています。

■ターゲット：モノやコトに確かな目を持つ都市生活者

メインターゲットは、足元商圈にお住まいの方、首都圏在住の 40 代を中心とした女性を設定しています。地方色豊かな旬の食材を提供するなど、浅草周辺にお住まいの方の日々の暮らしの延長線上にありながら、多くの浅草来訪者にファンになっていただけるような発信力のある施設を目指します。

浅草で日本各地の魅力が体験できる商業施設 「まるごとにつぼん」施設紹介

■テーマ：風土巡礼

観光地として国内外の多くの人で賑わい、日本文化を体感できる浅草で、20の市町村・約50の地方事業者が、モノ・コト・ヒトの魅力を発信していきます。地方の魅力を、「見て」「食べて」「持ち帰って」旅気分をお楽しみいただけます。

■フロア構成：4フロアを巡ると「につぼんの暮らし」がわかる

当施設は、につぼんの「食」、「叡智」、「絆」、「風土」のコンセプトに分かれた4フロアで構成され、一巡すると日本を旅したようににつぼんの暮らしを体感できます。

フロア	業態構成	コンセプト		来訪の魅力
4階	飲食	につぼんの風土	旅先の味が立ち並ぶ テーマフードゾーン	地のモノを好きに味わう
3階	情報発信 実演・体験	につぼんの絆	地方のポータルサイト たびの窓口	参加・体験・ライブ感
2階	日用品	につぼんの叡智	地方商品の販路開拓 暮らしの道具	自分色のモノさがし
1階	食品	につぼんの食	生鮮も揃うワンストップ型 日本一の食の集積	ここでしか手に入らない

1階 食料品：日本一の食の集積

生鮮食料品をはじめとした地方色豊かな1階の食品フロア。直営店の食品館「蔵」では、専門バイヤーのセレクト商品をはじめ、生産者から直接買い求めた商品や3階「【Event space】おすすめふるさと」に出展している自治体の商品をお買い求めいただけます。これまで地方に行かなければ手に入らなかった隠れた逸品を発見できます。



2階 日用品：暮らしの道具

伝統技術や風土が息づく、「暮らしの知恵」が詰まった地方発の生活用品を販売します。ものづくりの背景を伝える「にっぽんのクラフト街」をお楽しみいただけます。



3階 実演・体験・情報発信：たびの窓口

地域資源を活用した実演・体験ができる3階「浅草にっぽん区」。20の市町村のブースが出展する「【Event space】おすすめふるさと」、旅する期待感を創出するカフェ「【Cafe】M/N（エムエヌ）」、郷土料理をマスターできる料理教室「【Cooking studio】おいしいのつくりかた」の3つのゾーンで構成されています。



4階 レストランフロア：テーマフードゾーン

地方の味が楽しめるレストランフロアです。旬の味覚と下町風景を堪能できる寛ぎスペースです。

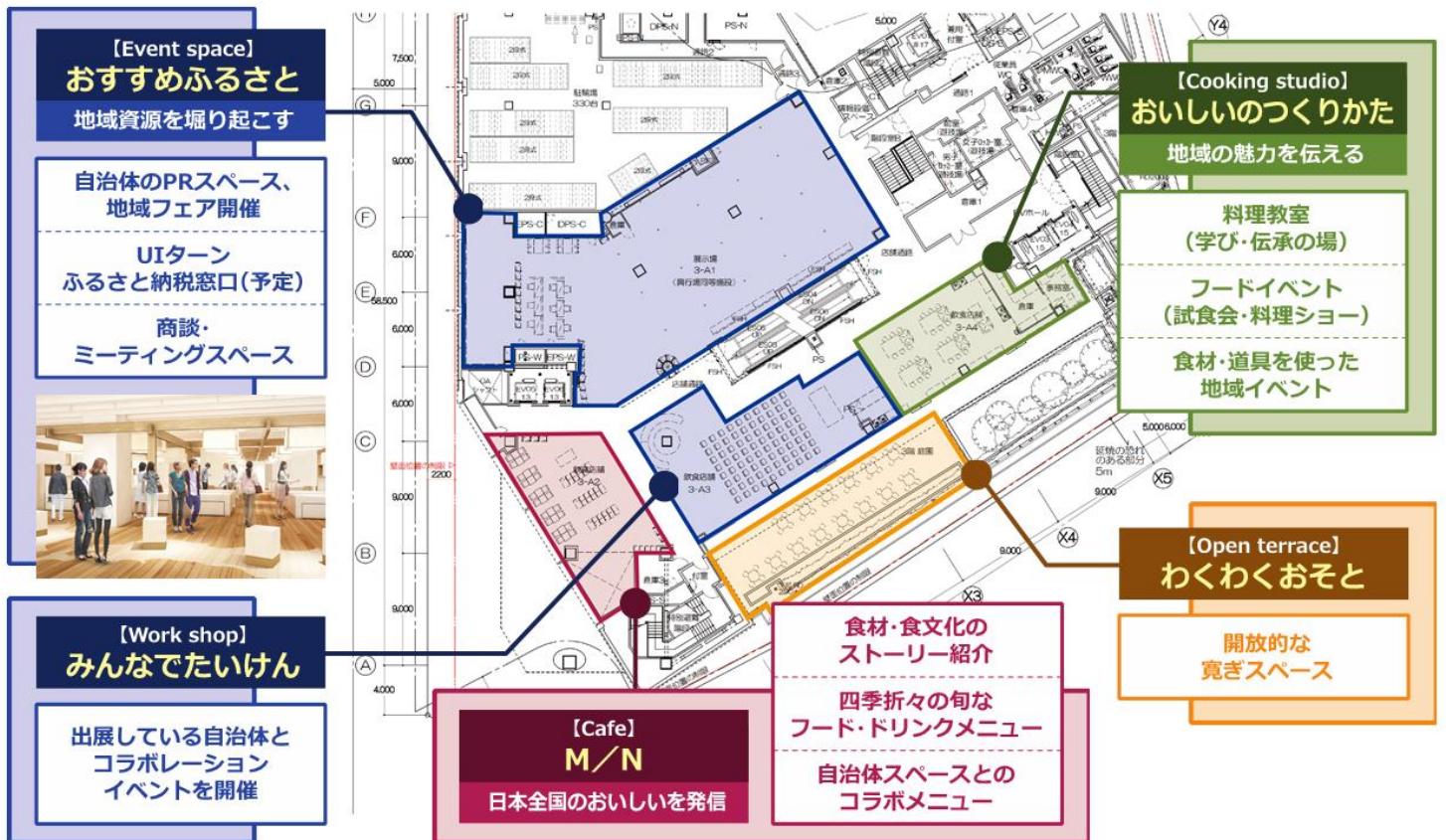


■ “見る・食べる・作る” ができる3階「浅草につぼん区」

施設紹介第一弾となる本資料では、地方自治体が出展し、フロア間でのコラボレーションが可能な3階フロア「浅草につぼん区」をご紹介します。

当フロアは、20の市町村がブース出展する「【Event space】おすすめふるさと」、旅する期待感を創出するカフェ「【Cafe】M/N」、郷土料理をマスターできる料理教室「【Cooking studio】おいしいのつくりかた」の大きな3つのゾーンで構成されており、当施設の運営理念に賛同したパートナー達と協働で盛り上げていきます。

その他、イベントスペース「【Work shop】みんなでたいけん」では、出展している自治体とのコラボレーションイベント開催や、ワークショップなど、浅草と地方を結ぶ各種イベントの開催を検討中。また、浅草の町並みを楽しみながら寛げる「【Open terrace】わくわくおそと」では、地方の食材を使用したバーベキューイベント開催などを予定しています。



1. 季節感のある自治体の展示が楽しめる「【Event space】おすすめふるさと」

季節感のある一つのテーマに合わせて、20の市町村が各ブースで、その地域のモノやコトを展示します。株式会社47PLANNING（東京都渋谷区、代表取締役：鈴木賢治）と協働のもと、高機能演出照明を使用し、各地の見どころを探访するようなテーマ性の高い空間演出を行います。

また、来館者の現地誘客を図る施策として、UIターンの相談窓口、ふるさと納税窓口や移住定住窓口などのワンストップ対応窓口サービスを計画中です。



「【Event space】おすすめふるさと」パース

2. 期間限定で地方のおいしさが味わえる「【Cafe】M/N」

good mornings 株式会社（東京都目黒区、代表取締役：水代優）運営・協力のもと、地方の食材や調理法を活かした期間限定オリジナルメニューをご提供します。地域の暮らしの中にある、食材や食文化のストーリーを、料理だけでなく、本や映像などと合わせ、5感を通じて体験して頂ける場所です。四季折々の旬の野菜や食材にこだわったフード・ドリンクメニューをご提案します。

3. 郷土料理が作れる料理教室「【Cooking studio】おいしいのつくりにかた」

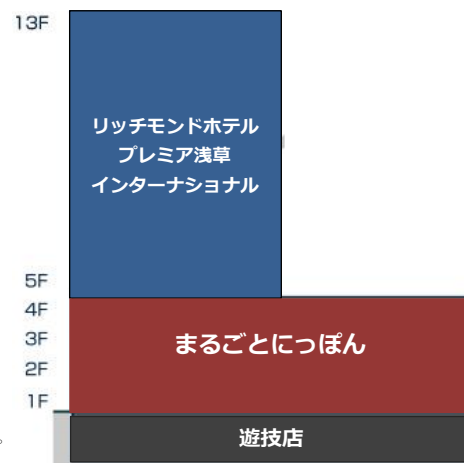
館内で販売する食材や器、調理道具を使用しながら、地域独自の食材や調味料を使用し、さまざまな郷土料理のレシピを紹介、食材の食べ方紹介やアレンジの提案を行います。株式会社JFCS（東京都中央区、代表取締役：三井琢雄）協働のもと、体験型のレッスンを基本として、平日は複数回、休日は単発でのレッスンを予定しています。

※他フロアの詳細や、今後の開催予定については、詳細を随時発表してまいります。

■「東京楽天地浅草ビル」の概要

施設名称	東京楽天地浅草ビル
建設地	東京都台東区浅草2丁目6番地4外
開業予定日	2015年12月中旬
敷地面積	約3,480㎡（約1,050坪）
建築面積	約2,790㎡（約840坪）
階数	地上13階、地下2階、塔屋1階
延床面積	延床面積 約22,910㎡（約6,930坪）

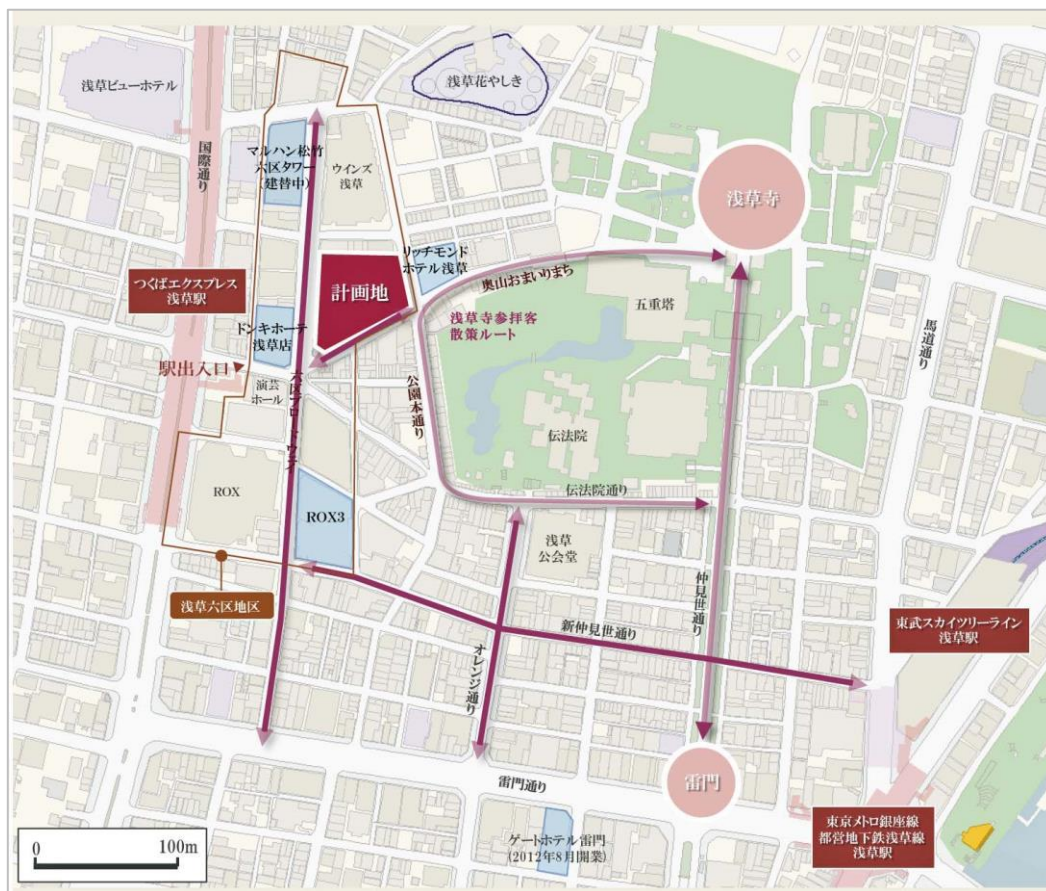
※構造・規模、建物面積については、設計の進捗に伴い、変更する場合があります。



■「まるごとにつぼん」事業概要

運営	株式会社まるごとにつぼん
年間売上想定	30 億円
年間集客想定	372 万人～
年間来街想定	2,800 万人～ ※浅草エリア全体の統計値
歩行者交通量	50,000 人/日 ※休日 2014 年 6 月調査時点、接道する 3 道路の合計値
	25,000 人/日 ※平日 2014 年 6 月調査時点、接道する 3 道路の合計値

■アクセスマップ



※本資料の画像はこちらよりダウンロードできます。
<http://xfs.jp/CqiCA5> (7月1日まで有効)

< 報道関係者の方からのお問合せ先 >

<p>株式会社東京楽天地 浅草開発準備室 担当：水口、丸山 TEL：03-3631-3126 FAX：03-3632-3121</p>	<p>広報事務局（共同 PR 内） 担当：長谷川、庄司 TEL：03-3571-5159 FAX：03-3571-5183 MAIL：marugoto-pr@kyodo-pr.co.jp</p>
--	---